

腹痛

年齢に関わらず、急な腹痛は単なる食べすぎや便秘であることも少なくありません。腹痛以外に症状がなく、顔色や顔つきもいつもと変わらない、食欲もあるといった場合には、大きな病気の心配はあまりありません。緊急を要する病気かどうかを知るためにはまず子どもの様子をよく観察することが必要です。

ホームケア

まず排便回数と量を確認しましょう。

便が出ていても量が少なかったり、硬いコロコロした便であれば便秘の可能性があります。排便できるようにおなかをあたためてマッサージをしたり、小さい赤ちゃんなら綿棒で肛門刺激をしてみよう。それでも排便できないようなら診療時間内に受診をしましょう。

診療時間内に受診する目安

- 熱はあるが水分を取れていて比較的元気である時
- 数日間排便がない⇒排便を促して様子を見る
- 下痢症状はあるが水分が取れていて元気である時

すぐに受診する必要がある時の目安

- ぐったりしていて水分も取れない
- 極めて激しい腹痛が30分以上続く時
- 乳幼児で激しい啼泣を間隔をあけて繰り返している。啼泣と啼泣の間は機嫌が良く、いつも通りにしている。

